CENTER NEWS

2015.10

No.350

協同組合 関西地盤環境研究センター

目　　次

災害をめぐる近年の変化　藤井　勉……1
8月　定　例　理　事　会……3
平成27年度　ジオ・ラボネットワーク技術者交流会に参加して　藤村　亮……4
平成27年度　ジオ・ラボネットワーク技術者交流会に参加して　橋本　篤……6
第50回地盤工学研究発表会　参加報告　李　俊憲……8
第50回地盤工学研究発表会　参加報告　服部　健太……9
第50回地盤工学研究発表会　参加報告　松本　修司……10
第50回地盤工学研究発表会　参加報告　松川　尚史……11
滋賀県総合防災訓練参加報告……12
「建設工事で発生する自然由来重金属等含有土対応ハンドブック」について……13
行事・講習会・資格試験等のご案内……15
こんな時代だから、ちょっと心に残る良い話……16
編集後記……17

表紙説明

地質調査業に関係するみなさんは、すでにご存知かと思いますが、山陰海岸ジオパークについて、紹介させていただきます。山陰海岸ジオパークは、平成20年12月、日本ジオパーク委員会から「日本ジオパーク」として認定を受け、平成22年10月4日（現地時間10月3日）、ギリシャ・レスヴォス島で開催された会議で、「世界ジオパークネットワーク」に加盟が認定されたそうです。

写真上は、兵庫県新温泉町山陰海岸ジオパーク館です。この施設では、山陰海岸ジオパークについて学習できるパネルなどの展示物やジオツアーの案内などがあります。

写真下は、池の島の大甌穴　（イケノシマノオオケツ）と呼ばれる場所の遠景です。近づけませんでしたが、海上1.2mの棚にできた波食棚で、直径5m、深さ5mのポットホールをはじめ合計4個のポットホールからなる東西16m、南北10mの複合型巨大ポットホールだそうです。

山陰海岸ジオパークの素晴らしい自然を観たり、その大地の成り立ちと関係した生き物や人の暮らし、歴史や文化に触れてみてはいかがでしょうか？

（鏡原　記）

災害をめぐる近年の変化

エイト日本技術開発　藤井　勉

私は平成21年6月の自社の社内異動で、大阪勤務となったのが契機となり「協同組合関西地盤環境研究センター」の理事として運営に関わらせて頂いています。

協同組合の運営に関わるのは初めての経験であり協同組合自体を十分理解できていませんでしたので、協同組合を調べたらブリタニカ国際大百科辞典では「サービスの利用者が所有し、みずからの利益のために運営する団体」となっており、フリー百科事典ウィキペディアでは「共通する目的のために個人あるいは中小企業者等が集まり、組合員となって事業体を共同で所有し、民主的な運営管理を行っていく非営利の相互扶助組織」と記述されていますが、日本の協同組合は事業内容毎に個別の法律で規定されており、一般的な規定は存在しないのが実情のようです。

当協同組合も基本的には組合法に沿った運営が行われていますが、センターが掲げる理念は『**本組合は、組合員の相互扶助の精神に基づき、組合員のために必要な共同事業を行い、もって組合員の自主的な経済活動を促進し、かつその経済的地位の向上を図る事を目的とする**』となっており、基本理念のもと当組合並びに組合員の皆様のご期待に沿えるよう努力していく所存ですので、今後ともご指導、ご協力をよろしくお願いいたします。

話は変わりますが、近年は異常気象の影響で災害が各地で多発し、多くの人命や財産を奪い国民の安全・安心への不安が増幅し、防災・避難対策等の整備が一層緊急な課題として認識されています。

未曾有の地震･津波により被害が発生した2011年3月11日の東日本大震災以降でも、東日本を中心に内陸地震が多発しました。

近畿地方では同年8月末の台風12月により紀伊半島を中心に激甚な大災害が発生したことは記憶に新しいと思います。

その他、日本各地で台風や集中豪雨、竜巻、火山噴火、暴風雪等の災害が発生していますが、その災害は大規模化・多様化し災害の被害も頻発し、昨年度以降は、7月の高知市や福知山市の台風災害、8月に発生した広島市の同時多発の土砂災害、9月の

御岳山噴火、11 月の長野神城断層地震、また、直近では 9 月に発生した台風 18 号による鬼怒川の氾濫災害などを受けてインフラ整備の必要性が再認識されつつあります。

しかし厳しい財政状況のもと限られた予算で大災害に備えた万全な整備を行うには限界があり、我が国の防災対策はハード施設の建設だけでなく被災の最小化を目的としたソフト対策（減災対策）の必要性も高まっており住民を主体とした自主防災や地域防災の必要性も認識されつつありますが、少子高齢化等に伴う地域社会の弱体化など社会経済情勢も大きく変化し災害リスクを高めているのも否めない事実です。

今後はハード的な防災対策に加え、住民の迅速な避難行動を前提とした自主防災対策も重要な課題であり、官民一体となった災害対策に大きく変化して行くものと予想されますが、防災のハード対策は不可欠であり、建設業に関わる我々業界の役割はますます重要になってきています。

その期待に応えるべく今後とも努力して参りたいと思います。

8月 定例理事会

Regular board of directors

8月理事会は資料を送付の上、持ち回り開催とした。

記

開催年月日	平成27年8月24日（月）理事に資料を送付し 平成27年8月31日（月）までに意見を回収した。
開催要領	持ち回り開催
理事者数	10名　全員に資料を送付

[報告事項]

1）一般経過報告

7月理事会の会議・会合・行事について報告した。

2）7月分事業報告の件

☆お知らせ☆

・第36期臨時総会開催

開催日時：平成27年11月24日（火）　15時00分から

開催場所：大阪キャッスルホテル

臨時総会終了後、講演会・懇親会を予定しております。

尚、詳細は決まり次第お知らせ致します。

平成27年度ジオ・ラボネットワーク技術者交流会に参加して

地盤技術室　藤村　亮

8月27日・28日の2日間、広島で行われた「ジオ・ラボネットワーク技術者交流会」に参加しました。関西からは橋本職員と2名で参加し、一日目はひろしま国際ホテルにて「最近の出来事」というテーマで発表を行いました。

試験機の増設・改造等の説明および今年の新入職員3名を紹介しました。

新入職員紹介に関しての掲載はここでは省きます。以前のセンターニュースに各3名とも原稿を投稿しましたので、HPでご覧ください。

今回の発表を通じて、試験機メーカーは自動化を追求しているのに対し、実際に業務で試験機を扱うセンターは故障や不具合が起こらないものを求めているので、両者の目指す完璧な試験機像には若干の溝があると感じました。その溝を埋めていくためには、こういった発表の場を大いに活用して、多くの人や業界の人に発信し、情報を共有していかなければならないと思いました。

今回の発表会では、各組合の発表の他に、呉工業高等専門学校　加納　誠二教授の特別講義がありました。内容は去年8月20日に起こった広島土砂災害の被害状況と地形と地質によるその被害の違いについてでした。これまで私はテレビの空撮ぐらいでしか被害を見ることはなかったのですが、実際に現地で取られた写真には一階部分が完全に土砂にのまれた団地や、住宅が多く捉えられていて、自分が想像していたよりも被害が大きくて驚きました。

発表会の後には懇親会があり、様々な年齢の方々に、仕事や人生での経験を色々と聞かせていただき、とても勉強になりました。また、広島の組合に今年入社した、私と同い年の武本さんと親交を深め、まだまだ分からないことばかりだけど、これから貢献できるようにお互いに頑張っていこうと誓い合いました。

翌日は、紅葉谷公園の防災対策を知るという事で、白糸川渓流の砂防堰堤を見学しました。厳島の景観に配慮して、宮島の対岸や宮島航路の船上から見えない位置に設置されていると聞いて驚きました。景観を崩さない防災対策があるということを知ることができてよかったです。その後、広島県土質試験センターに行きました。内部には試験機がびっしりと並んでおり、一階に全ての試験機が集約されている事で、誰が今どんな試験をしているかが、把握できる様になっていて、職員数が少ない分だけ、お互いの連携やコミュニケーションを大事にしているのだと感じました。当組合と比較して、こんな試験機があるとか、こんな方法で試験をやっているというのは、まだまだ勉強不足で分からなかったですが、また違う機会で勉強を兼ねて見学できたらいいなと思います。

最後になりましたが、技術者交流会の準備等を行っていただきました広島県土質試験センターの皆様、そして温かく迎え入れてくださいました各組合の皆様、大変お世話になりありがとうございました。次に参加出来る機会があれば、もっと技術的な事をお話し出来るようになっていたいと思います。

まだまだ未熟な入所一年目の若輩者ですが、心の片隅に名前を置いて頂けたら幸いです。今後とも交流・お付き合いよろしくお願いいたします。

加納　誠二教授　特別講義

懇親会（ひろしま国際ホテルにて）

白糸川渓流の砂防えん堤

集合写真

平成27年度　ジオ・ラボネットワーク
技術者交流会に参加して

地盤技術室：橋本　篤

日　　時：平成 27 年 8 月 27 日～ 28 日
会　　場：広島国際ホテル
主　　催：ジオ・ラボネットワーク
開催組合：協同組合広島土質試験センター

＜8 月 27 日＞

1. 特別講義

「8.20 広島土砂災害と地形・地質特性」 加納 誠二教授（呉工業高等専門学校）

平成 26 年 8 月に発生した、土砂災害の被害状況について、災害発生箇所・地質・降雨量等について、各箇所の状況などの詳細な説明がありました。

この災害からの教訓として、想定外の雨量・発生時間・情報確保の不足等がありましたが、「自助・共助に最善を尽くす」ということで、たくさんの人たちが生き延びたということでした。

2. 各組合からの話題発表

各組合の職員から日常的な話題について発表があり、意見交換を行いました。

・労務管理からのアプローチ
・中小企業組合士（公的資格）
・灯台の耐震診断（現場業務）
・室内試験に関する発表が6件ありました。

当組合からは、「最近の出来事」ということで、橋本・藤村が発表を行いました。

3. 懇親会

懇親会では、参加者の方々と、話題発表時の質疑応答では収まりきらなかった部分の延長戦もありました。また、日常の業務についての情報交換や、個人的なことなど、さまざまな意見交換の場となりました。

＜8月28日＞

1. 8.20 広島土砂災害現場見学

現在復旧中ということで、現場近くまでというのは無理でした。遠目からですが、実際に崩壊した現場風景は、テレビニュースでしか見たことなかったが、意外に、幹線道路から近い範囲にある印象でした。想像していたよりも急な勾配の場所に住宅があり、起こるべくして起きた災害だと感じました。

2. 宮島の土砂災害復旧事例の見学

・厳島神社

小学校の修学旅行以来なので、つい懐かしく感じてしまい、独自の視点で見学してしまいました。ジオラボの皆と楽しく会話しながらの見学となりました。

・紅葉谷公園、白糸川渓流の防災対策

自然石を利用した、自然石積による修復や、自然石据え付けのあとを見学しました。すでに自然風景の一部として、利用されているのだと感じました。砂防堰堤は見に行くまでの道中が、軽い登山をした感じで大変でした。

3. 協同組合広島県土質試験センター見学

私としては、初めて広島県土質センターを見学させてもらいました。20分ほどの短い時間でしたが、試験室から、事務所、会議室まですべてを見学させて頂き、HPの写真からは想像つかないぐらいの大きい設備で大変驚きました。

終わりに

私自身、組合交流会は2回目の参加でした。また、最近6年間で業務やフォーラム、学会参加の時に、近くに組合があれば、必ず見学させていただいてきました。その甲斐があり、全9組合のうち、7組合を見学してきました。他の試験室を見学させていただくことは、いつも居る試験室だけでは気が付かない特徴や創意工夫を感じることができます。また、交流会を通じて、「電話では話したことはあるけど、こんな人なんだ！」とお互いに確認し、記憶に残りました。普段の業務で気軽に相談しあえるような仲間をつくれることが大切だと感じました。

第50回地盤工学研究発表会　参加報告（1/4）

地盤技術室　李（いじゅんほん）　俊憲

平成 27 年 9 月 1 日～ 4 日にかけて開催された、第 50 回地盤工学研究発表会（北海道科学大学）に参加し、発表を行いましたので報告をさせていただきます。この度は、入社して初めに技術展示準備のお手伝いする機会を頂きました。他の協同組合の方々にご協力と色々な事について教えて頂きながら「ジオ・ラボネットワーク」展示ブースの設置を行いました。展示はジオ・ラボネットワークのポスターや全国各組合のポスターとモニターで試料の抜取、供試体の成形、液性・塑性試験、一軸圧縮試験、三軸圧縮試験（UU）の動画を流せるように設置しました。

ブースを訪ねて下さった方々は、ポスターにも興味を持って頂けたと思いますが、動画の方により興味をお持ちいただけたように感じています。やはり広告みたいに短時間でアピールすることが大事であると実感しました。

そして、3 日目には「飽和度および粒度分布が盛土材料のせん断強度に及ぼす影響に関する実務的検討」のタイトルで発表致しました。発表内容は、より簡単で経済的な方法で土の強度定数を求め、結果に対する実務的な適用性を評価するため、一連の物理的特性、透水試験、保水性試験（遠心法）、定圧一面せん断試験（飽和、不飽和）実施した試験結果の報告でした。参加者方々には、遠心法に対する意見交換や不飽和土供試体作製時の問題点などについて貴重なコメントを頂きましたので良い勉強になったと思っております。

「ジオ・ラボネットワーク」の技術展示

李の研究発表（3 地盤材料：不飽和土③セッション）

最後に「貴方がイ君か、頑張れよ！」と親切にしてくださったジオ・ラボネットワークの関係者方々並びに地盤工学発表会に参加できるように機会を与えてくださった皆様に心よりお礼を申し上げます。お疲れ様でした！そして、ありがとうございました！今後とも宜しくお願い致します。

第50回地盤工学研究発表会　参加報告（2/4）

地盤技術室　服部　健太

発表会２日目の午前中は，【DS-2 地盤材料試験の技能評価と精度・ばらつきの実態】のセッションにて「土の粒度試験結果がばらつく要因の分析例」と題した発表を行いました。発表の際には長い間発表練習に付き合ってくださった方々や発表会に参加している間にセンターで業務のカバーをして頂いている方々に胸を張れるようにと心がけ発表いたしました。とても緊張しましたが、何とか無事に発表を終えることが出来たと感じています。

またその夜にロイトン札幌にて開催された「交流会」に参加してきました。交流会には多くの方々が参加されていました。社会人として初の交流会でしたので、発表する時と同様にとても緊張しました。交流会を終えて思うと、もっと自分から進んで様々な方々との交流ができればよかったと後悔しました。次回こうした場に参加させて頂ける機会があれば、後悔のない様に様々な参加者と交流するように心がけていこうと思いました。

最後になりましたが、今回「地盤工学研究発表会」に参加する機会を与えて下さった皆様に心より御礼申し上げます。この様に参加して得たものをこれからの実務の中で活かしていきますのでよろしくお願いいたします。

服部の発表風景

交流会での一コマ

第50回地盤工学研究発表会　参加報告（3/4）

地盤技術室　松本　修司

私は、2日の午後から松川室長と北海道へ向けて出発しました。もともと飛行機が苦手な私は、伊丹空港で搭乗手続きを済ませた後､妻に「何かあったときには子供たちをお願いします」とメッセージを送り、飛行機に乗り込み離陸を迎えました。当日は天候が悪く、恐怖に耐えながらも順調に札幌に近づいていたのですが、新千歳空港に着陸する直前に、外は大雨。それも避難勧告がでる位の大雨で、2度タッチアンドゴーを繰り返した後、結局、大雨の為着陸不可能と判断し函館空港に給油と天候回復までの待機を兼ねて着陸しました。そして2時間近く飛行機の中で待機した後、再び札幌に向けて飛び立ち、何とか新千歳空港に着陸したものの JR は止まっており、急遽レンタカーを借りて札幌入りするという波乱万丈なスタートとなりました。

今回の地盤工学研究発表会では、松川室長と私は、3日午後の【調査分類 - サウンディング、物理探査⑤】セッションにて、長年にわたって西田一彦顧問に指導していただいた、土の劣化機構について2部形式で発表しました。まず、松川室長が「盛土遺構の構造と劣化現象について」というタイトルで約 300 年以上経過した某城の石垣背面の盛土の構造と土の劣化特性について調査した結果を一事例として発表しました。続いて私が「地盤の劣化度判定指数とその適用性」というタイトルで劣化度を簡易的に判定する指数の提案とその指数を実際に劣化現象が現れた構造物に適用した事例について発表しました。会場で実際に発表すると緊張のせいか規定時間の7分が短く感じました。数年前から発表会に参加させて頂いていますがまだまだ慣れません。私の前に発表された松川室長は、何度も経験されている事もあり、堂々と発表していました。今後も積極的に経験を積んでいきたいと思っています。また、質疑応答や、その後会場でも個人的に質問して頂き土構造物の劣化現象について、注目して頂いている方が多いと感じました。

また、日頃なかなか他の人の発表を聞く機会がないので勉強になりました。特にパワーポイントの見やすさや話の解りやすさ等、今後の発表や、業務においても見学会やプレゼン・報告会等の説明に参考になる部分が多くありました。

このような機会を与えて頂いたことに感謝しています。

写真 1　松川室長の発表状況

写真 2　私の発表状況

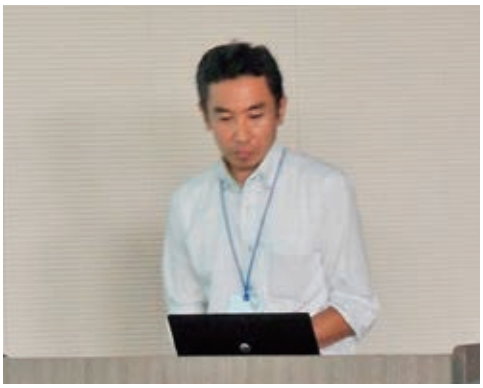
第50回地盤工学研究発表会　参加報告（4/4）

地盤技術室　松川　尚史

最終日９月４日（木）「ジオ・ラボネットワーク技術研修会」が北海道土質試験協同組合にて開催されました。参加者は北海道組合の組合員会社の方を始めとして総勢50名程度の参加があり大変盛況でした。講師は株式会社基礎地盤コンサルタンツの萩原協仁氏、中部土質試験協同組合の久保裕一氏で、内容は「ため池堤体の耐震診断業務と土質試験事例について」でした。平成27年５月に基準化された「ため池整備」設計指針の詳細ニューマークＤ法を中心に土質試験結果と関連付けされたもので、土質試験を専門に行っている我々にも大変興味深い内容でした。その中で試験結果の取扱いや課題点を挙げて説明をいただけました。当組合でも実務としてこうしたニューマークＤ法に関連する土質試験として「繰返し三軸＋単調載荷試験」（地震による繰返し載荷で損傷が大きくなり、強度が低下していくのかを算出するもの）を昨年度より行なっています。しかし試料の均質性の面、試験供試体の条件、試験に必要な試料量、試験時間等々試験を実施する立場からの課題点もいくつかあるのではないかと考えていましたので、設計・解析をする側と試験を実施する側の意見を融合してより良い試験方法を見出していく事が次に繋がっていくのではないかと感じています。

また、新しい試験技術として試験供試体のVp・Vsの測定についてのお話もありました。これは試験時に供試体のVp・Vsを測定し、原位置試験の結果と比較することで搬入された試料が乱れているかどうかの評価が可能になるというものです。また、原位置試験の速度と合わせることで、より原位置に近い状態の供試体で試験が可能になるというものでした。こうした技術を今後どのような形で活かしていくのかがこれからの課題になるのではないかと考えています。

最後になりましたが、地盤工学研究発表会およびジオ・ラボネットワーク技術研修会に参加させていただいたことに感謝します。今回得たものをこれからの業務に活かしていきたいと思います。よろしくお願いいたします。



講師の先生方（左　萩原氏、右　久保氏）

滋賀県総合防災訓練参加報告

9月6日（日）に滋賀県の総合防災訓練が米原駅東口で開催され、関西地質調査業協会が滋賀県との防災協定の一環として行ったブース展示にセンターも協力しました。

関西地質調査業協会ではいろいろな地盤災害例とその発生原因をパネルで説明し、液状化実験装置を用いて液状化が発生する条件とその被害を実演しました。

センターからは粘土・シルト・細砂・中砂・粘土混じり砂れきの各試料について、自然含水状態の変化によって見た目と手触りが大きく変わることを実際の土で体験してもらいました。さらに、寒天で作成した模型地盤を用いて地震動が作用した場合に、健全地盤と軟弱地盤で揺れ方が大きく異なることを説明しました。

我々が日常何気なく使っている、例えば「シルト」という言葉も、知らない方にとっては“何のこと？”であり、地盤がこんな粒（つぶ）から成り立っているなども新しい知見であったようです。

我々の行っている地盤調査という仕事について、より広く知ってもらうことの重要性を感じた一日となりました。

（中山　記）

参加メンバー

土質の種類と３状態および地盤振動モデル

液状化実験の様子

熱心に説明を受ける滋賀県知事

「建設工事で発生する自然由来重金属等含有土対応ハンドブック」について

協同組合　関西地盤環境研究センター
環境技術課　阪部 秀雄

平成 27 年 3 月 31 日に「建設工事で発生する自然由来重金属等含有土対応ハンドブック」が大成出版社から発刊されました。

このハンドブック発刊までの流れは

①「建設工事における自然由来重金属汚染対応マニュアル（暫定版）」H18. 土木研究所

②「建設工事における自然由来重金属等含有岩石・土壌への対応マニュアル（暫定版）」H22. 国土交通省

となっており、建設工事で発生する自然由来重金属等を含む発生土の取り扱いについて、最新の解説書になります。

【①スクリーニングを実施する場合のフロー図】

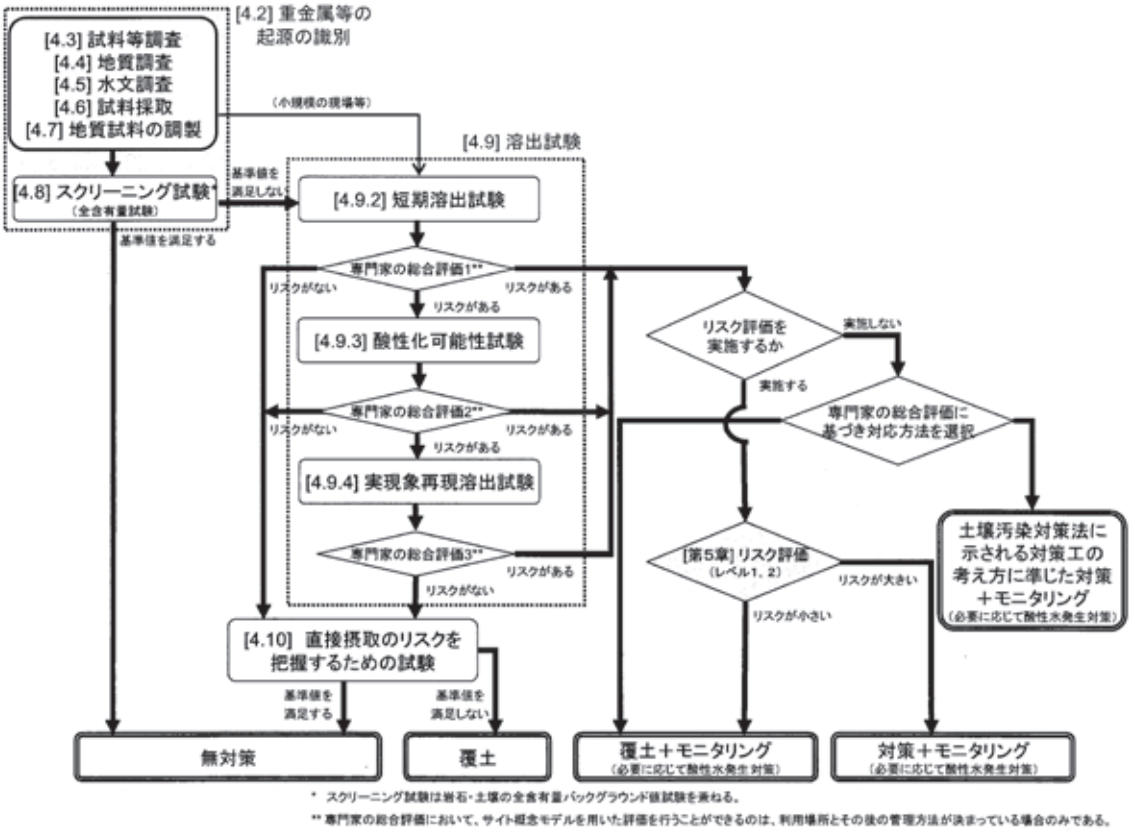


図 4. 1. 1　調査および試験の流れ

（http：//www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/pdf/recyclehou/manual/sizenyuraimanyu_zantei_honbun.pdf）国土交通省ホームページより抜粋

建設工事における自然由来重金属等含有岩石・土壌への対応マニュアル（暫定版）」からの大きな改正点は、スクリーニング試験による評価を行わないことです。

スクリーニング試験は“湿式分析法を必要とし、分析に費用と時間を要する。"また、“スクリーニング値（全含有量）と溶出量には一般的に相関関係が見られない。"等の問題点がありました。スクリーニング試験を実施しない方法は、私も以前から組合員の方には提案しており、今後は工期の短縮も期待できるものと思います。

【②スクリーニングを実施しない場合のフロー図】

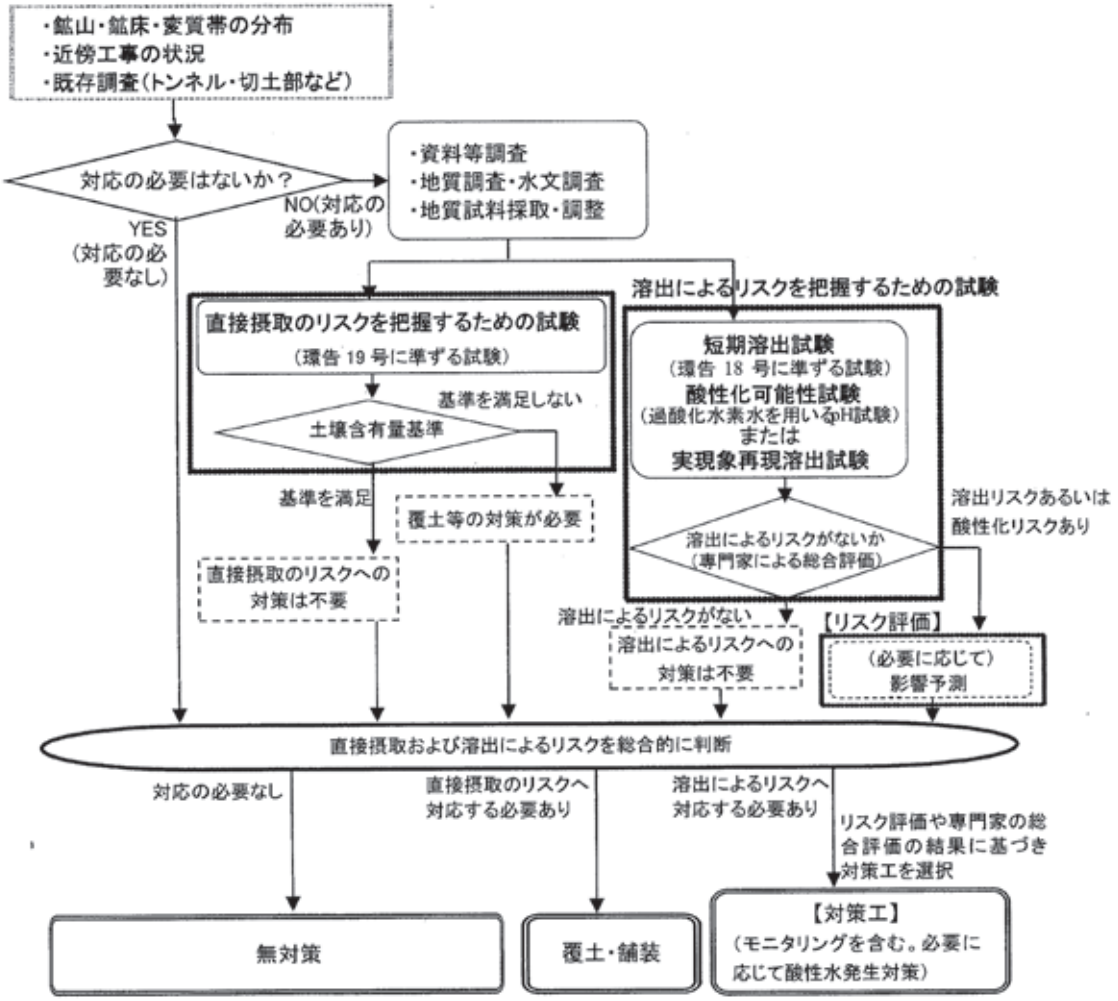


図３．２　一般的な判断の流れ

（都道府県等の条例、環境部局の指示がある場合や建設発生土の受け入れ条件が定められている場合等にはこの限りでない）

「建設工事で発生する自然由来重金属等含有土対応ハンドブック」p.33 より抜粋

行事・講習会・資格試験等のご案内

（H27 年 9 月 24 日現在）

主　　催	開催日 開催地	名　　称	募集内容	申込締切
関西地質調査業協会 http://www2.ocn.ne.jp/~kstisitu/		匠（優秀オペレータ）募集	募集	10月1日~3月31日
全国地質調査業協会連合会 http://www.zenchiren.or.jp/	10月9日 大阪会場	平成27年度道路防災点検技術講習会	講習会	
地質リスク学会 http://www.georisk.jp/	11月20日	第6回地質リスクマネジメント 事例研究発表会	発表会	
地盤工学会関西支部 http://www.jgskb.jp/	10月21日	平成27 年度 第2回 見学会 E-ディフェンス公開実験	見学会	10月7日 申込み締切
	11月20日	Kansai Geo-Symposium 2015	シンポジウム	
地盤工学会 https://www.jiban.or.jp/	10月14日	杭基礎のトラブルとその対策講習会	講習会	
	10月23日～24日	地盤・耐震工学入門講習会	講習会	
	11月4日～6日	わかって使うFEM講習会	講習会	
	11月18日	落石対策工の設計法と計算例講習会	講習会	
	11月20日	地盤工学者のための舗装－基礎から応用まで－講習会	講習会	
		シニア会員と若手の交流企画	講師募集	原則として 年齢60歳以上
土木学会関西支部 http://www.civilnet.or.jp/	11月9日～13日	メンテナンスエキスパート講習会	講習会	
土木学会 http://www.jsce.or.jp/	10月21日	CIM講演会2015(大阪)	講習会	
	11月10日	平成27年度セミナー「土木学会による実務者のための耐震設計入門:実践編」	講習会	
	12月2日	第3回地盤工学から見た堤防技術シンポジウム	論文募集	
日本建築学会近畿支部 http://kinki.aij.or.jp/	10月13日	大阪市域の大振幅予測地震動と今後の耐震設計	講習会	
建設コンサルタンツ協会近畿支部 http://www.kk.jcca.or.jp/	10月13日	新技術発表会in大阪（建通新聞社）	発表会	
砂防学会関西支部	10月16日	砂防学会 関西支部総・土砂災害に関するワークショップ」	講習会	申込み締切10月9日 tiakku9391@pasco.co.jpまたは tomoaki_nishikawa@kk-grp.jp
砂防学会 http://www.jsece.or.jp/	11月9日	2014年広島土砂災害から学ぶ大規模土石流災害の予測と対策	講習会	
（公社）日本地すべり学会関西支部 http://japan.landslide-soc.org/branch/kansai//	10月30日～31日	激甚災害対応の教訓と課題 －平成25年7月島根・山口の災害事例－	現地検討会	申込みE-mail: kansai-sibu-jimu@landslide.dpri.kyoto-u.ac.jp

※内容の詳細については、ホームページ等でご確認願います。

こんな時代だから、ちょっと心に残る良い話

今回のちょっといい話は、「火花」の作者でありお笑い芸人のピース又吉さんのコラムを見つけたので掲載してみました。お暇な時に一読してみてください。

（稲田　記）

「笑わんといてな・・・。俺、大阪城に住みたいねん」

サッカーで関西屈指の名門と呼ばれる高校に通っていた。 誰もがプロサッカー選手を目指す環境だったため、僕は誰にも「将来お笑い芸人になりたい」という夢を打ち明けることができなかった。

高校に入学した時、同じクラスにサッカー部の岸野という男がいた。

この男は凄く面倒臭い男で、「一緒にトイレに行こう」「食堂へA定食を食べに行こう」などと休み時間になる度に僕に何かを提案してきた。　僕は､「一人で行くから」と断るのだが､「ほんまは寂しいくせに！」とか「友達できひんぞ！」などと見当違いのことを言って僕を困らせた。人の心にズカズカと土足で踏み込んで来る彼の厚かましさは、僕の人見知りの部分や思春期特有の孤独主義を簡単に打ち砕き、気が付いたら僕達は友達になっていた。

ある日、練習が早く終わった午後に二人で帰る機会があった。ジャンケンで負けた彼が自転車をこぎ、勝った僕が荷台に座った。途中、淀川という大きな河の堤防に座り休憩した。彼に将来の夢を聞かれた。僕は迷ったあげく、「誰にも言わんといてな、芸人になりたいねん。」と打ち明けた。すると彼は、「マッタンやったら絶対大丈夫や！　俺もマッタンは芸人になったら良いのにと思ってた。」と言ってくれた。嬉しかった。「お前の夢は?」と聞くと彼は、「絶対に笑うから言いたくない」と言った。僕の夢を真面目に聞いてくれて後押しまでしてくれた彼の夢を僕が笑うはずがない。絶対に笑わんから聞かせてくれと言うと、彼は思い詰めたような深刻な表情で僕に言った。

「笑わんといてな……。俺、大阪城に住みたいねん。」笑った。無茶苦茶笑った。

こんな奴の前で真剣に将来の夢を語ってしまった自分が恥ずかしかった。

彼は、「絶対に笑わんって言うたやん！」と怒っていた。

彼は二年になると大学受験に専念すると言って、サッカー部を辞めた。

そして、三年の時に「父親が、あと半年の命だから働かなければならない」と言って学校を辞めた。馬鹿だった僕達は皆で泣き、勉強したくてもできない彼の分まで全力を尽くさなければならないと懸命に勉強し学年の平均点を大幅にアップさせた。だが、嬉しいことに彼の父親は未だに生きている。

僕は何とか芸人になった。　君は大阪城に住めたのだろうか?

君は今、どの屋根の下で暮らしているのか?

【参考文献】http://www.kinejun.com/Portals/0/serial/matayoshi/01.html

編 集 後 記

記録続きの猛暑が過ぎ去り、あっという間に秋が来ました。

9 月は中秋の名月でお月見をされた方も多いかと思います。

今年の十五夜は 9 月 27 日（旧暦 8 月 15 日）で、9 月 28 日は一年で最も月と地球の距離が短くなるスーパームーンと二夜連続でお月見が楽しめました。

月を見ていると、私には確かに“うさぎ"が見えましたが、世界ではいろいろなものが見えるそうです。

南ヨーロッパ　…　大きなはさみのカニ

東ヨーロッパ　…　女性の横顔

北ヨーロッパ　…　本を読むおばあさん

カナダインディアン　…　バケツを運ぶ少女

バイキング　…　水をかつぐ男女

アラビア　…　ライオン

ドイツ　…　薪をかつぐ男

いろいろありますが、いつかは世界の各地で月見をしてみたいですね。

（阪部　記）

（http://kids.goo.ne.jp/parent/seasonevent/tsukimi/detail_05.html
キッズ goo ; 月の模様～ほかの国では何に見える？参照）

組合員・賛助会員名簿

【組合員名簿】 （50 音順）

会　社　名	電話番号	会　社　名	電話番号
株式会社 アスコ	(06)6282-0323	株式会社 白浜試錐	(0739)42-4728
株式会社 アテック吉村	(072)422-7032	株式会社 ソイルシステム	(06)6976-7788
株式会社 インテコ	(0742)30-5655	株式会社 ダイヤコンサルタント 関西支社	(06)6339-9141
株式会社 エイト日本技術開発 関西支社	(06)6397-3888	株式会社 タニガキ建工	(073)489-6200
株式会社 オキコ コーポレーション	(06)6881-1788	株式会社 地圏総合コンサルタント 大阪支店	(06)6223-0955
応用地質 株式会社 関西支社	(06)6885-6357	中央開発 株式会社 関西支社	(06)6386-3691
川崎地質 株式会社 西日本支社	(06)7175-7700	中央復建コンサルタンツ 株式会社	(06)6160-1121
株式会社 関西土木技術センター	(075)641-3015	株式会社 東京ソイルリサーチ 関西支店	(06)6384-5321
株式会社 関西地質調査事務所	(072)279-6770	株式会社 東建ジオテック 大阪支店	(072)265-2651
株式会社 基礎建設コンサルタント 大阪営業所	(088)642-5330	東邦地水 株式会社 大阪支社	(06)6353-7900
基礎地盤コンサルタンツ 株式会社 関西支社	(06)6536-1591	株式会社 日さく 大阪支店	(06)6318-0360
株式会社 キンキ地質センター	(075)611-5281	株式会社 日建設計シビル	(06)6203-3694
株式会社 建設技術研究所 大阪本社	(06)6206-5700	日本基礎技術 株式会社 関西支店	(06)6351-0562
興亜開発 株式会社 関西支店	(072)250-3451	日本物理探鑛 株式会社 関西支店	(06)6777-3517
株式会社 神戸調査設計	(078)975-3385	株式会社 阪神コンサルタンツ	(0742)36-0211
株式会社 興陽ボーリング	(06)6351-1590	阪神測建 株式会社	(078)360-8481
国際航業 株式会社 関西技術所	(06)6487-1111	復建調査設計 株式会社 大阪支社	(06)6392-7200
株式会社 国土地建	(0748)63-0680	双葉建設 株式会社	(0748)86-2616
サンコーコンサルタント 株式会社 大阪支店	(06)4803-2010	株式会社 メーサイ	(06)6190-3371
株式会社 シマダ技術コンサルタント 大阪本社	(06)6392-5171	明治コンサルタント 株式会社 大阪支店	(072)751-1659
有限会社 ジオ・ロジック	(072)429-2623	株式会社 ヨコタテック	(06)6877-2666

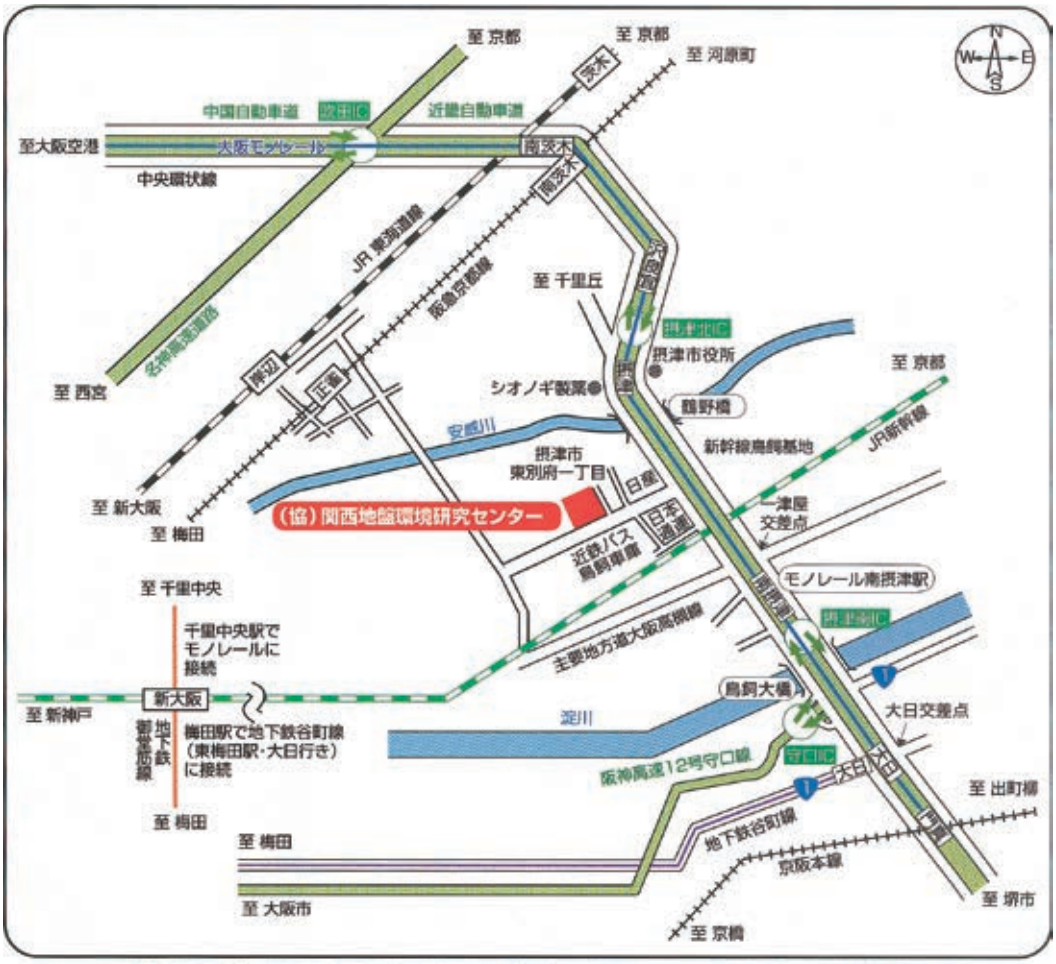
【賛助会員名簿】

会 社 名	電話番号	会 社 名	電話番号
株式会社 アーステック東洋	(075)575-2233	株式会社 ソルブレイン	(06)6981-3330
株式会社 池田地質	(06)6797-2280	株式会社 中堀ソイルコーナー	(06)6384-9069
株式会社 創研技術	(088)652-0077	株式会社 兵庫コンサルタント	(0799)28-1074
株式会社 綜合技術コンサルタント	(072)312-0653		

発　　行　協同組合　関西地盤環境研究センター
〒566-0042　摂津市東別府1丁目3番3号
TEL　06-6827-8833（代）
FAX　06-6829-2256
e-mail　tech@ks-dositu.or.jp

編　　集　情報化小委員会
編集責任者　中山義久
印　　刷　出版 樹の じゅじゅ

http://www.ks-dositu.or.jp



モノレール南摂津駅より徒歩約15分　JR岸辺駅よりタクシーで約10分　阪急正雀駅より徒歩で約25分

JAB Testing RTL02160
認定範囲
M25機械・物理試験
M25.21土質試験

ISO 9001
JTCCM
QSCA
RQ 0704
(登録範囲) http://www.jtccm.or.jp/

JAB CM015

協同組合 **関西地盤環境研究センター**

〒566-0042 大阪府摂津市東別府1丁目3-3
TEL.06-6827-8833(代表)
FAX.06-6829-2256(地盤技術室)
http://www.ks-dositu.or.jp

ISO/IEC17025認定試験所(摂津試験所)　計量証明事業者登録(濃度)大阪府第10310号
ISO9001認証取得　環境省土壌汚染指定調査機関(環2003-1-99)